



宇宙に関する講演会を開催しました

令和6年10月3日、宇宙に関する講演会をエネ研で開催し、敦賀市立栗野南小学校6年生約70名が宇宙について学びました。この講演会は、敦賀市教育委員会の特別授業にエネ研が協力し令和3年度から始まったもので、特別授業の終了に伴い本年度はエネ研が主体となり実施しました。

第1部では、JAXA筑波宇宙センターとエネ研をオンラインで結び、JAXAとエネ研が実施している宇宙空間で使われる電子部品や太陽電池に関する共同研究を紹介したほか、エネ研の加速器について説明しました。

第2部では、一般財団法人リモート・センシング技術センター参与の加藤善一氏が「宇宙から地球を見る」と題して人工衛星の役割について講演を行いました。

児童からは「人工衛星が宇宙に何千もあると知ってびっくりした」「敦賀で宇宙の研究をしていることを初めて知った」等の感想が寄せられました。



JAXA筑波宇宙センター
からのライブ中継



加速器の説明



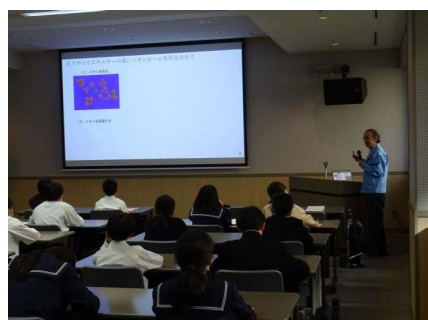
加藤氏による講演

高志中学校1年生がエネ研で研修を受けました

令和6年11月6日、福井県立高志中学校1年生約90名が「高志学」嶺南エネルギー研修の一環としてエネ研を訪れました。

生徒達は、エネ研の研究や水素エネルギーについて、エネ研の職員から講義を受けたほか、マグネシウムから水素を作る実験を見学したり、電子顕微鏡でシャープペンシルの芯など身近なものを観察しました。

研修を通して生徒達はエネルギーや科学への興味・関心を深めた様子でした。



エネ研の研究の説明



水素の実験



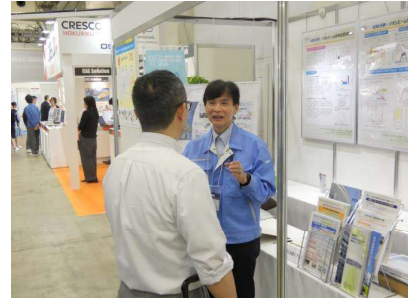
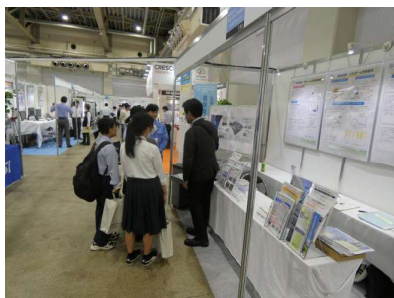
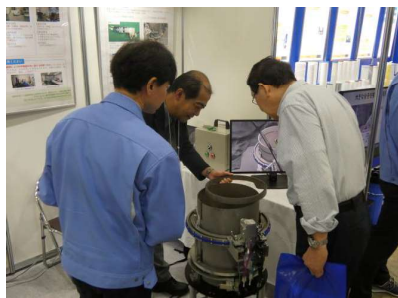
電子顕微鏡の操作

北陸技術交流テクノフェア2024に出展しました

令和6年10月17日、18日の2日間、福井県産業会館で開催された、業種・分野・地域を超え、様々な企業・大学・研究機関等が一同に会する展示会「北陸技術交流テクノフェア2024」に出展しました。

エネ研ブースでは、レーザー技術を用いた配管切断技術、イオンビームを用いた材料分析技術や宇宙用電子部品の放射線耐性を評価する技術などの研究内容を紹介したほか、自動配管切断システム試作機や加速器の模型を展示しました。

このほか、低料金でサポート体制の充実した科学機器の利用支援について紹介するなど、多くの方々にエネ研の幅広い研究活動や支援制度を知っていただく機会となりました。



エネ研ブースの様子

原子力グローバルスクール2024を開催しました

令和6年10月2日および10月9日に「原子力グローバルスクール2024」をエネ研で開催しました。このセミナーは、原子力等のエネルギーをテーマに国際的な視野を養うとともに英語力の向上を目的として、平成29年度から実施しており、外国人講師と日本人講師が全て英語で講義を行います。

今年度は開催回数を年3回に拡大し、2・3回目となる今回は福井高校から29名、敦賀高校・若狭高校から38名が参加しました。英国および米国の文化やエネルギー、国際機関の役割と業務内容等について講義を受けた後、グループに分かれて英語によるディスカッションおよび発表を行いました。

参加した生徒からは「英語に対する壁が低くなった」、「短期留学を考えてみたい」といった感想が寄せられるなど、国際的な視野を養うとともに、学校間交流の良い機会にもなりました。

10月2日	10月9日	講義タイトル	講師
○	○	世界で活躍するグローバル人材として	下村和生（エネ研アドバイザー）
○	○	通訳者としての私の人生とキャリア	町田里奈（英語通訳者）
	○	国際交流員としての生活 ； アメリカの高校生活	カリナ・ローゼンバーグ（福井県国際交流員）
	○	英国の文化と原子力・エネルギー情勢	ルーベン・ホームズ （京都フュージョニアリング株式会社 シニアエンジニア）
○		英国の文化と原子力・エネルギー情勢	ジョン・マックグレイディ （京都フュージョニアリング株式会社 シニアエンジニア）



ジョン・マックグレイディ氏による講義

本誌を読まれての御感想、御意見を下記担当あてお寄せください。

住所:〒914-0192 福井県敦賀市長谷64号52番地1

E-mail:kikakushien@werc.or.jp

TEL:0770-24-7273 FAX:0770-24-7275

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当

